

## SJ-TRA 202 Gwy1001a Release Note

2010/09/24

株式会社セーブルネットワークス

---

### New Software Features for Gwy1001a

---

#### Gwy1001a 機能一覧

##### 1. nat64 関連機能

- nat64
  - ・ IPv6 側からイニシエイトされた通信 のダイナミックな IPv4 へのアドレス/ポート変換サポート
  - ・ IPv6 から IPv4 へのアドレス/ポートマッピング、フィルタリングサポート  
RFC5382(BEHAVE TCP)、RFC4787(BEHAVE UDP)記載、  
EIM (Endpoint-Independent Mapping)、EIF (Endpoint-Independent Filtering)
- スタティック SASP(ソースアドレス/ソースポート) マッピング
  - ・ IPv6 から IPv4 方向変換時、事前に登録した IPv6SASP/IPv4SASP への変換サポート
- アイドルタイムアウト
  - ・ マッピング削除時のタイムアウト値の変更サポート
- サブスライバ毎のマッピング数制限
  - ・ サブスライバ毎のマッピング最大値設定サポート
- マッピングしきい値
  - ・ 指定したしきい値により、マッピング数を超えた(下回った)際のアラーム発呼サポート
- IPv6 Fragmentation Header 付パケット
  - ・ IPv6 Fragment Header 付パケットの変換サポート

## 2. ALG (Application Layer Gateway) 機能

- FTP ALG
  - ・ FTP コマンド、FTP コントロールメッセージのアドレス/ポート変換サポート
  - ・ FTP コマンドは EPSV, PASV, EPRT, PORT をサポート
- ICMP ALG
  - ・ ICMP Echo/Reply、及び他の ICMP Error メッセージの変換サポート
  - ・ マッピングが存在する際は、ICMP Error メッセージのペイロード、及びアドレス/ポートの変換サポート

## 3. マネージメント関連機能

- 動的な設定変更
  - ・ 動的な設定変更のサポート
    - Free Pool PREFIX, アドレス/ポートレンジ設定
    - サブスクライバ毎の max-mapping 設定
    - アイドルタイムアウト設定
- show mapping コマンド
  - ・ nat64 関連のマッピング情報、統計情報の表示サポート
- clear mapping コマンド
  - ・ nat64 関連のマッピング削除機能サポート
- マッピング log
  - ・ マッピング作成、削除、エラーに関する Log の生成サポート
- マッピング Log の syslog 転送
  - ・ マッピング Log を File に保存、syslog サーバーへ転送する機能サポート
- SNMP
  - ・ nat64 関連の Vendor Specific SNMP MIB サポート

---

## Fixed Bugs for Gwy1001a

---

- [ECR33569]
  - ・ tcp/udp/icmpld/tcpAlg/udpAlg それぞれの Free Pool に適用された "max-entries" を超えた場合に出力される Log Level に整合性が無い問題修正

---

## Known Issues for Gwy1001a

---

- [ECR33587]
  - ・ Mapping Manager から SJ-TRA internal system level における mjr メッセージが出力された場合に、最終的に OS が syslog/messages を生成する過程で、level が mnr(Warning)になってしまっているという問題 (Gwy1002a にて修正予定)
- [ECR32950]
  - ・ ヘアピニング通信ができない問題 (Gwy110xa にて修正予定)
- [ECR33557]
  - ・ IPv6 Interface にてネイバーのアドレス情報が解決されていない状況で、IPv4 側にて DF=0 のパケットを受信した際に、IPv6 へ変換後、1 パケット目のみ Fragment Header を付与しない問題 (Gwy110xa にて修正予定)
- [ECR33563]
  - ・ show natv6 v6v4 mapping extensive 実行時の bytes:,pkts:,flows:のカウンター表示がおかしい場合がある問題で、1 パケット目のカウンターが機能しない問題 (Gwy110xa にて修正予定)

---

## Limitations for Gwy1001a

---

### Gwy1001a での制限事項

1. autonegotiation off コマンド
  - ・ CLI 上で 1000base-SX/LX SFP に対して autonegotiation off のコマンド入力が可能ですが、1000base-SX/LX SFP ではサポートされません。
2. SJ-TRA 202 内、APMA カードとラインカード間の時間が同期されない
  - ・ SJ-TRA 202 内、APMA カードとラインカード間の時間が同期されない事象が発生する場合があります。発生した際は、下記のコマンドで時間を同期させてください。

request switch set-date <時刻の指定(YYYYMMDDhhmm.ss)>

例: request switch set-date 201007120900.00

上記のコマンド実行で強制的に APMA カードとラインカードの時刻が変更され、その後 NTP サーバへ時刻同期が行われます。

3. シリアルコンソールへの Log 出力
  - ・ SJ-TRA202 のシリアルポートのコンソール PC を接続し、Log を出力させる場合、同時に CLI にて設定変更を行うとシリアルポートがハングアップ致します。シリアルポートにコンソール PC を接続し、Log を出力させる場合、設定変更は me-0 (ethernet インターフェース)を使用した telnet/ssh 経由で行って下さい。
4. ssh の version 指定
  - ・ CLI から ssh の version 指定が行えますが、Gwy1001a では、ssh version1.0 のみサポートしております。
5. lo-0 アドレスを使用可能なサービス
  - ・ CLI から syslog、SNMP、FTP、telnet/ssh に lo-0 アドレスをソースアドレスとして設定可能で御座いますが、FTP telnet/ssh のみサポートしております。

[EOF]